

時代のニーズにあわせた グルメシティ神戸の推進を

—今こそグルメの原点にかえるときだ—

□座談会出席者（敬称略・順不同）

榊 晴夫（榊トム・キャンテイ代表取締役）

郭 范煌（郭代表取締役）

山崎 仁嗣（御東栄彌代表取締役常務）

美木 剛（御レストランジャンムーラン代表取締役）

—九月十六日から十一月三十一日まで、財団法人神戸ファッション協会主催による「グルメメディアKOBÉ」のイベントが市内各所で行われています。グルメメディアとは、「食（グルメ）」と「媒体（メディア）」とを結びつけた造語ですが、そこには、食は生活を彩り、人と人、人と場所、人と情報とを結びつける媒体の役割を担い、そこから新しい情報や文化が生まれるとの考えがあります。店に特別ゲストを迎え食談会「グルメ・プロムナード」、食品工場などを訪ねる「グルメ・ファクトリー・ツアー」、参加二百店ほどを回るスタンプ・ラリー「グルメ・ゴーラウンド」など多彩な催しがあり、今年で五年目になります。

今回は、お店のオーナーの方々にお集りいただき、食を提供する側から神戸の飲食業界の現状や「食」を通して街づくりについてお話をお願いいたします。

★本当のグルメが良い料理職人をつくる

美木 この間、フランスに行ってきた。不況のせいだと思いましたが、日本人やアメリカ人などの外国人観光客が少ない上、外国人労働者も仕事がないために国外退去を余儀なくされ、独特のコスモポリタンな雰囲気になくなり、非常にさみしくなっています。

反面、超高級レストランでも予約はすぐとれるし、店の対応は格段によくなったようで、これは有難いことではあるのですが、今さらという感じもしますね。いずれにしても、世界的な不況によって、バケの皮が剥れるというか、にせものが通用しなくなったことは確かですね。バブル時代に見てくれただけで客を集めていた店が淘汰されていくのは、自分としては正しいと考えています。

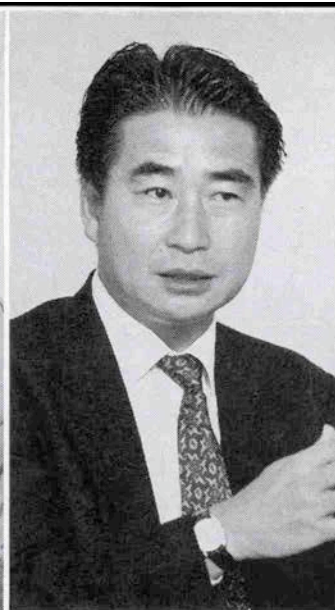
今回の世界的な大不況で、神戸の高級店ももろにその



美木 剛さん



山崎 仁嗣さん



郭 范雄さん



堀 晴夫さん

波をかぶっています。特にわれわれフランス料理は厳しいですね。「生き残るという事」以外何もない有様です。私の店は16年間やっていますので、その間には当然景気の変動をもろにかぶるわけで、今さらうるたえるのは男として情けない(笑)という気持ちもあります。男として頑張らねばならないと思っています。

山崎 私の店は、父親から受け継ぎ、今年で46年になります。皆さんのように自分で店を始めたわけではありませんので、大きなことは言いきくのですが(笑)、ふぐに始まり、てんぷら、おすし、いつの間にか懷石にまで手を広げました。しかし、こちらで何か「へそ」を見つけたるためにも、もう一度原点を見つめなおさないと、と感じています。

美木さんのお話ではないのですが、景気が悪いと財布の紐が締まり、お客様に本物を提供するというのが、非常に難しくなっています。なにしろ本物は高いですからね。お客様の希望に合わせるのが大事になってきます。本来なら本物がわかって貰えるお客様を育てていくのがいいのですが、たとえば魚にしても、天然ものと養殖ものとの違いをどう評価していただけるのか。お客様に価値をわかってもらうためにも、原点を見つめなおすことが必要だと思っています。

かってそうであったように、今も阪神間にお住まいの方々が神戸の「食」を育てるという形で足を運んでくれるか、という点、最早そうではないようですね。そのため、これからの時代は、観光客などの要望にも合わせた料理を提供することも大事になってくると思います。

郭 神戸は今、「グルメメディアKOBÉ」と銘打って、グルメ都市づくりを進めています。神戸をグルメの街にするならば、市民自体がグルメになっていかないといいけないと思います。表現がきついです。神戸の文化人が神戸の中華料理をダメにした」と私は言ってきました。つまり、中華料理にはお金をかけないという考えや中華料理は安くて美味しいのだという考えがあるんです。

しかし、お金を出さないで職人を育てようというのは無理な話なんです。いい素材を使わないといい職人は育たない。少し挑発的な言い方になりますが、神戸の若者達はこの間に味が解からないのか、安ければそれだけでいいのか、と思います。もっと「味」を理解してほしい。この不景気の中でも、これ以上は質を落せないものがあるだけに、私としてもつらいところです。そうは言っても、神戸の中華料理はそこそこ美味しいです。しかしながら、ひいきにする店で、いい素材を使って、いい料理を出させるには、いいものが作れるようにお金をかけていただきたいですね。でないと、職人は育たないです。「食」を通した都市づくりを考えるならば、大阪からおかぶを奪うような「食いだおれ」に神戸もならないといけないと思います。

神戸市は、市民をグルメに育てあげようとしていますが、残念ながら「夜の文化」は、どんどんすたれていくようです。昼間の文化になりつつあり、バー経営としては、非常に苦しいですね。しかし私としては、現在こういう状況の中で生きのびて行くためには、やはり本物を提供しないといけないということで、「お客様に健康を提供する」ということに重きを置いています。たとえば水にこだわっています。健康を提供することが私の店のテーマです。生きのびていくには本物志向であることが重要です。私はこの世界に入ってから40年、店を開いて30年になりますが、オイルショックなど以前にも何度か不況を体験しました。その度乗り越えることができたのは利益は少ないが「お客様に喜んでもらえる」ということを大切にしたいのだと思っています。サービスも含め、きちんとしたものを提供しているお店は神戸にもたくさんあり、そういった事がはやっていく要素だと思っています。美木さんのお話のように、不況によってサービスが本来のあるべき姿に戻ったということはありますね。郭 台湾や香港では、食通がいて、本物を使った高級品を食する人が多いですが、神戸ではどうでしょうか。神

戸においても、お金持がそういったものを食べて、本物の素材を支持して行ってくれないと、ごまかしの味ばかりになってしまいます。たとえば、鮑などの干物を例にとりますと、このままでは、すべて冷凍物になってしまいう恐れがあります。もちろん新しい料理にもチャレンジしていかなければならないのですが、やってはいけないことはやらない、というスタンスが店にないと、味なんかどんどん変わってしまいます。食の文化が育つためには、どうしても経済力がともなわないといけない。いい食べ手がいるから、いい職人が育つわけです。中国本土を例にとると、確かにいい素材は揃っていますが、いい職人はいない。たいてい、いい職人は香港の出身です。

山崎 「ひきぬかれる」つまり、より質が高く、より給料の多いところへ行くことは、香港においてはもちろん、どこの料理人にとっても名誉なことです。料理人が変われば、そのつど店の料理の質も変わりますが、お客様もいいものはいいと判断します。しかしそれには、郭さんがおっしゃったように経済力がないとダメだ、と一番感じます。

もちろん料理人としたら「夢」はやりたい、しかし、こういう状況ですから、そればかり追求するのではなく現実とどう折り合いをつけて行くかが課題です。いい素材であればあるほど味付けはうすくなっていきます。それだけ素材の味を生かしているからです。しかしそれはよほど素材がよいものの場合で、当然値も張ります。夢と現実の狭間でやるしかないですね。

美木 料理職人として言うところ、全力投球すれば、お客様はちゃんと分かってくれます。

山崎 美味しいものを食べたい。しかし高いものには手が出ないといったときに、手頃な値段で手に入る本物をどれだけ探して、吟味して、お客様のふところに合わせいくかが今、求められています。

郭 それでも神戸では他都市に比べて、美味しいものが比較的安く食べられます。だからある意味で、神戸では

「安くて、うまい」でいいとは思いますが、ただ安いだけでは困ります。特に中華料理に対する値段感を変えて欲しいですね(笑)。

★店側がグルメを育てることも必要

山崎 本物の味を知ってもらうためにも、口はばった言い方になりますが、我々がお客様を育てる努力が必要かもしれないですね。マスコミ情報は、実に薄っぺらなものですから。

榊 確かにガイドブックが、ある意味で本物に接する弊害になっているか分かりませんね。紹介されている店のレベルが揃っていないことが多いようです。

ところで、神戸の経済人はよく「ケチ」だと言われる(笑)。神戸では、美味しいものが安く食べられることが当たり前になっているからです。神戸は、その意味で、交通が便利で、環境がよくて、しかも美味しいものが安く食べられるという非常にぜいたくな街です。われわれは有難いと思わないといけない(笑)。だから、その上にあぐらをかいて人を育てることを忘れたらいけないと思います。

山崎 たとえば、一定期間、通常の料理の値段を安くして、しかも料理の質は下げず、「本物の味はこれだ」というものを提供する。店の負担によってお客様の舌を磨いていただくことも必要です。

たとえば、「グルメディアKOBÉ」(財団法人神戸フアッション協会主催)の中核行事として、店にゲストを招いて、その人の話と店の料理を楽しむ「グルメブromナード」が11月に行なわれますが、ゲストなしで、その店のご主人が料理の話をし、今言いましたような料理を楽しんでいただくというようなことを店の主催でやってもいいのではないのでしょうか。

榊 京都には若手の経済人のグループが京料理の振興に力を尽くしていますが、神戸にもそういうものがあればいいですね。若い人たちが、お金を出し合って美味しい

ものをつくるということは大事です。

山崎 また京都の場合は、舞子さんがいたり、道具立てもうまく揃っていますね。神戸でも料理をとりまく環境というか、文化的ロケーションをどうつくり上げて行くか、そのためには市民ひとりひとりが頑張らなければならないです。

美木 そういうことでは、神戸は文化の消費の地という感じがします。美術や映画に関する著名人を数多く輩出しているにもかかわらず、それらの人達に関する文化的な施設などは何もない。神戸から情報発信をしていない。そういうものがあれば、それを見に神戸に来たついでに美味しいものでも、となると思うのですが。

山崎 文化都市とPRしているわりには、文化を薄っぺらくしている感じがありますね。行政がそうだったものを一生懸命保護しようとしていないのではないのでしょうか。「グルメブromナード」の話に戻りますが、これも料理店を主体にすれば、また形の違ったものになると思います。どういう店が参加するかなど、料理店同士で協議させたらどうでしょう。そしてそれをフアッション協会に応援していただく。

★「食」のイベントづくりが今後のテーマ

榊 「グルメブromナード」につきましては、たとえば青年会議所のメンバーに客としてこぞって参加していただくとか、その店の常連客ではない、新しい客に参加していただくことを考えないといけないのではないかと思います。

榊 それと、神戸以外の他都市の人に、神戸のグルメを認識してもらえらイベントにしないといけないですよ。それに関して言いますと、神戸に来る観光客をどう店へ来てもらうかも一つの課題ですね。

山崎 評判というものは、非常に恐いもので、旅行社には客を紹介してもらいたい、しかし、かと言ってツアーの団体が来た場合、ツアーの予算に合わせるとても

採算がとれない。だからと言って質をおとすと、神戸の料理はたいしたことはない、ととられる恐れがあるためそうはできない。難しいところですね。

美木 神戸と他都市、たとえば、札幌や博多とを比較した場合、神戸との一番の違いは、阪神間にブルジョワの層が厚いことですね。博多はいい素材があるにもかかわらず、十分にそれを生かしていないし、札幌においては東京文化の踏襲。阪神間においては、ちゃんとしたものを出せばわかってくれるというところがあります。素材においても瀬戸内をひかえ、申し分ないと思います。

山崎 神戸の店は、そういういい素材の上に乗っかって商売してきたようなもの。このいい素材を生かして、なおかつ、お客様に無理のない値段で提供していく。その努力が必要だと思います。

郭 私どもは、お客様の支持があればこそ商売。来年9月に関西国際空港が開港し、大阪湾岸道路が整備されてくると、これからは神戸にもっと来やすくなると思います。横浜の中華街には、東京を中心とした人が来るように、神戸の南京町でも、関西一円から人が来てもらえ



毎秋、神戸市内でグルメのイベントが行なわれるが、その中でも「グルメ・プロムナード」はメイン・イベントである。「食」の多彩な楽しみ方の1つとして、市民の間に定着してきている。(写真は昨年の参加店)

る店づくり、市民に支持される店づくりをめざす必要があるように思います。観光客だけでなく(もちろん、それらも必要ですが)、わざわざ食べに来てくれるような客を呼べる店づくりが今後のテーマだと思います。

榎 食文化にも神戸発祥のものが数多くあります。こういう歴史と文化がきちんとあるわけですから、それを業界で勉強して行くことが必要ですね。

神戸にはまだ「水割り文化」を続けている残念な店もあります。私としては、色々な意味でも勉強の場をつくっていきたいと思います。もちろんすでにそういう努力をしておられる人もいます。私としては、今後とも、夜と昼の文化の架け橋役に徹して行きたいと考えています。酒場というのは、本当は男がつくるのだという気概は、いつまでも持ち続けたいですね。美木さんが最初に言われたように、「男として」頑張ります。

——いろいろとお話が出ましたが、この不況下、各お店がいかに経営努力をされておられるか、改めて認識させられました。

お話の中に「グルメ・プロムナード」のことが出ましたが、店が主体となった食のイベント推進は確かに今後の大きな課題となってくると思います。

私どもでは、神戸には、これだけ多彩なお店があるわけですから、そのパワーを何とかまとめることが出来ないかと常々考えています。もちろん一店一店、個性と自己主張をもっておられますから、一つのグループづくりをするといっても時間がかかると思います。しかし、今日のお話には、そういうことに対する前向きの取り組みについても熱意も十分に感じられましたので、私どもとしてもお手伝い出来ればと思っております。

(兵庫倶楽部にて)

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉
神戸市中央区港島中町 6-5-1
TEL (078) 303-3311



キャンペーン「ファッション都市神戸を考える」の企画は以上各社の提供によるものです。

もっちゃん HYOGO WALK

■こころ豊かな生活・生きがいづくりのために アマチュアの人々が学べる 優れた舞台に

——ピッコロ劇団の創設

お話しを伺ったひと

山根 淑子さん （兵庫県立尼崎青少年創造劇場館長）

兵庫県が昭和四十九年よりすすめている「CSR活動」は、C（カルチャー）、S（スポーツ）、R（レクリエーション）、それぞれの活動を大いに発揮させる場を提供する活動です。各地域の若い人たちの話し合いの中で生まれた施設は、いままでで十五カ所以上、「ピッコロシアター」はその中でも、県立では初めての劇場として誕生しました。

同シアターは、舞台のスペースが客席の二倍もある大ホール、そして中、小ホール、資料室など「みる」「ことより」「演じる」ことに主眼をおいた魅力あふれる創造空間になっています。またソフト面でも鑑賞劇場、文化セミナー、実技教室と多彩な事業を展開。いままでに、地域文化の向上に貢献した個人・団体に贈られる「サントリイ地域文化賞（昭和六十二年）」をはじめ、数々の賞を受けています。これは、地域に根ざした文化活動のリーダー養成をめざす演劇学校を全国に先駆けて開設するなどの活動が評価された結果でしょう。

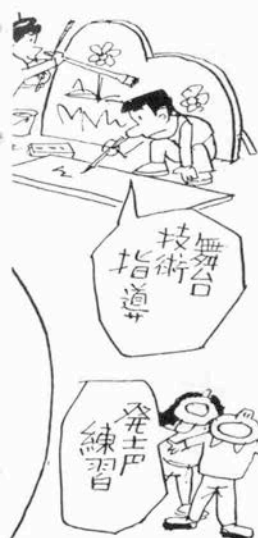
昭和五十八年から開設した「ピッコロ演劇学校」につき、舞台芸術を支え、クリエイティブな地域文化のす

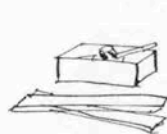
テージづくりの担い手を養成する「ピッコロ舞台技術学校」も昨年からスタートさせました。そして今年、ピッコロシアターは十五周年、ピッコロ演劇学校は十周年の節目の年を迎えます。そこで、これらの蓄積をもとに来年、関係者の悲願であり県立では初めての「ピッコロ劇団」を結成することになったのです。

「ピッコロシアターは県民のみなさんに喜んでいただけるよう運営に努めてきました。劇団もより多くの人に感じていただくために、県内各地へ出向いて舞台をお目にかけたいと思っています。アマチュアの人たちは、プロの優れた舞台から学び、吸収していただきたいですね。プロとアマチュア、両方の活動を車の両輪のような形で大切にしていきたいのです」と語る山根館長さん。ピッコロシアターが、県民から愛されている理由はこんなところにあるのかも知れません。

■お問い合わせは

兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）
〒650-0261 四二六—一九四〇代





人生は
重要なのだ



しなやかな
体をつくる



人前で発表
言できるようになった



脚本
読み



兵庫県立
ピッコロ劇団
スタート

うちの
町へも
来よう

日本一!
がんばれ!

重厚な歴史絵巻 一路真輝の双子役



大田 哲則
＜宝塚歌劇団・演出家＞



一路 真輝
＜宝塚歌劇団・雪組＞



紫 とも
＜宝塚歌劇団・雪組＞

宝塚大劇場雪組公演は10月29日から12月14日まで、ミュージカル『ブルボンの封印』とミュージカル・ショー『コート・ダジュール』。

今回は、出演の一路真輝さん、

そしてこの公演で大劇場最後の紫ともさん、『ブルボンの封印』の演出をされた大田哲則さんが、お稽古のあい間を縫ってのお話しを伺った。

■双子の役で誰だか分らない！

大田 こんな本があるから宝塚でやってみたらという話があり、脚本を考えると久しくやってないものが出来たんですよ。主人公が二役、それも双子というのは面白いです。

一路 またまた二役(笑)。今回は双子なので今までとは違いますけど、同じ呼吸でも育った環境の違いでの差を表わすのが、やっててすごく楽しいですね。

大田 ストーリーは17世紀のフランス。太陽王と呼ばれたルイ14世

の話です。

一路 この物語の元となる「鉄仮面」のビデオを見ましたが、18世紀の「ベルばら」とはまた違った華やかさを持つ宮廷ですね。紫 飾り立ててないですね。

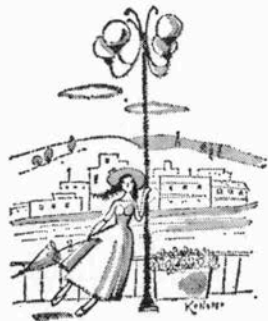
一路 でも、その頃から庶民はパンが無いと訴えていたから、フランス革命って何百年の不満の積みりだろうと考えてしまいます。

大田 今回は紫の最後の舞台だし、姫のイメージがあるけど、エネルギッシュな役も結構いけるのじゃないかなとマノンを付けたら、うまくいってますよ。

一路 原作読んで、楚楚としたマリエールがとも(紫とも)にびつたりと思っていたら、大田先生からマノンにするって言われて、これは面白いと思いましたね。

大田 ともこでしか出来ないような難しいキャラクターを与えたかったんですよ。

紫 最後にして悪女っぽい役に挑





戦です。感情のままに動くような女性で頭の切れる役だから、鈍感な私自身とは正反対なので、今は閃くふりをしているんです(笑)。一路さんは、二役続きで一年間に普通の倍の役を演じてますね。一路 やり易い面もありますね。でもオスカルをした時に一つの役に浸り切って楽しかったし、どちらが良いかは分らないですね。双子と言ってもルイは王として育てられ、感情に左右されないそれでいて自由な発想を持ち、とて

も人間らしい人。ジェームスは粗野な面も持つけど、今検討中です。紫 私の心配は、混乱です(笑)。一路 お稽古では衣裳の違いがないし、自分が誰か分からなくなったり。おまけにマノンとマリエールを呼び違えたりしてね(笑)。紫 私が間違えて「ごめんなさい」とあやまると、第三の一路さんが「うん」と答える。ルイとジェームスと一路さん自身で三人も一路さんが居るんですもの(笑)。一路 最後に大早変わりがあって

同じ衣裳で、あっちから出たり、こっちから出たりするし、ジェームスがルイのふりしてる時もあるからややこしいけど、盛り上がると思いますね。紫 まだ下級生の中で分っていない人あると思いますよ(笑)。大田 これこれ、エンディングと最初の出は演出家の苦心の場面だから、舞台見るまでは内緒だよ。一路 でも、初めのルイが5歳の戴冠式は、女役の子が長い長いマントですごくかわいい、とまたバ

ラしてしまいました(笑)。

紫 分り易い展開ですね。

一路 今回は唄があまり無くて、早変わりが忙しくて他の場面にはあまり出られないですね。お芝居と早変わりの公演ですよ。

大田 一路は優等生というのと、星の王子様のイメージが定着してるから、イメージは大切にしてゆきたいけど、殻を破るのに良い時期だと思ったんですよ。

■全部が見どころと言いたい！

一路 大田先生とは「ムツシュ・ド・パリ」以来5年ぶりですね。

大田 その前には新人公演や「レッド・ヘッド」などでチョコチョコあったけどね。

一路 最近雪組は、黙って見ててダメ出しされる先生が続いていたので、大田先生のように細かい所までを指摘されると、新鮮に感じます。下級生がとつかまって、手取り足取り教えていただいているのを見て、以前は私もこうだったナアと思ってたんです。すると上級生の方達も同じ事を言うんですよ。久しぶりって。

先生によってやり方が違うからとっても勉強になりますね。

紫 雪組はアキコ・カンダ先生と言われてましたが、久しぶりでですね。アキコ先生の心理描写の振り付けは表現が難しくて、苦労します。でも男役の総タイツ姿はス



「一路の今までのイメージも大切だけど、そろそろ殻を破るのに良い時期だよ」

テキですよ。

一路 ともこのサヨナラ公演になるけど、まだ意識がないですね。

紫 私も。最後の日くらいに感じると思うんですけど。でも最後に思い切り演れそうな役で嬉しいですよ。

一路 マリエールの役だと、押さえて演ってただろうね。

紫 はかないイメージが私にあるから、その上に作ると魂が抜けたようになってしまってたね(笑)。

一路 ともことは、ともこが月組に行って何年かのブランクがあったけど、トップのお披露目の時お互いに意識しないで出来て、す

ごい事だなと思ったの。

紫 回りを囲む側としても、お披露目だと力む事なく自然でしたね。お客様は「いよいよ一路さんがトップに」と言って下さった方が多くて良かったと思いました。

一路 ともこが横に居てくれたし、男役のピラミッドが出来てたから楽でした。東京公演で、ともこ毎日アドリブ応酬したけど、打ち合わせしなくてもうまく行っただね。それと思うと、もって一緒に演じたかったなと思っちゃう。

紫 一路さんのお陰でアドリブが出来たようになりました。

一路 私はカリさん(杜けあき)に「真面目に演りすぎよ」と鍛えられたの。最近思い返すと、麻実れいさん、平みちさん、杜けあきさん、私、と12年間で4人しか居ない重要な位置に居るから、ボワッとしてたらいけないナと思うの。でもあれこれするのは性格上無理だし、今の状態を続けてゆけば良いかなと…

紫 とても良い雰囲気ですもの。

お稽古が嫌だと思った事無いです大田 明るいよね。今度の芝居も底に陰謀が渦巻くから表面は明るくだよ。2人が中心の物語だけど、演出家としては全部が見どころですって言いたいのです(笑)。

一路 ともこの最後の大劇場ですし、見どころいっぱい「ブルボンの封印」ぜひ見に来て下さい。

MESSAGE from TAKARAZUKA



STAGE

●「ブルボンの封印」
17世紀のフランスを
舞台に「鉄仮面伝説」
の謎を追いつながら、太

陽王ルイ14世の登場を劇的
に描いた歴史ロマン。藤本
ひと氏が昨年書き下ろし

た同名のヨーロッパ三部作
の第一作で、重厚、壮麗な
歴史絵巻のミュージカル。

●「コート・ダジュール」
南フランスの港町を舞台

に、一人の軍人の休暇中の
ほろ苦くも淡い恋物語を歌
とダンスで綴るミュージカ

ル・ショ。パリの振付家
モリー・モローイ女史のダ
イナミックな振付けが話題

★雪組宝塚大劇場公演(1)ミュージカ
ル「ブルボンの封印」18場。脚本、
演出大田哲朗。特別出演千雅子、
星原美沙緒。(2)ミュージカル・ショ
「コート・ダジュール」16場。作
・演出小原弘毅。演出石田昌也。A
47000円、B30000円。新人公
演11/16午後6時開演。S3500
円、A25000円、B20000円。

ジェームス(左)とルイの2役・一路真輝

マノン・紫とも

BOW

●「夢の10セント銀貨」

ベン(天海祐希)は
妻エリー(麻乃佳世)
との生活ももう一つで、み
じめなサラリーマン。ある

CD情報

●「一路真輝純名里沙
美わしのウィーンを
歌う」
音楽の都ウィーンに
て、ウィーン国立フルク
スオーパ管弦楽団のフルメ
ンバーをバックに、ルドル
フ・ビーブル教授の指揮の
もと、一路真輝と純名里沙
がCD収録をした。「ウィ
ンナ・オペレッタ」の名曲
「メリー・ウィドウ」や「学生
王子」など全14曲。自分で
も信じられない程の出来」
と一路。ビデオも同時発売

■発売元 宝塚音楽出版株式会社
〒665 宝塚市栄町1丁目6-10
0797-8411280
32000円・ビデオ100000円

日10セント銀貨を拾うと、
突然もう一つの世界へ…。
★月組宝塚パワール公演「パワミ
ュジカル「夢の10セント銀貨」原
作ジャック・フィニイ。脚本・演出
中村隆。出演渡島裕、葵美哉、真琴
つばさ他。11/12・13 50000円

NEWS

●友の会へのお誘い
素敵な夢を贈り続け
る宝塚の舞台。そのレ
ディドリマーの世界
への架け橋、宝塚友の会に
あなたも入りませんか。

A会員／一年 七千二百円
で毎月「歌劇」を郵送。
B会員／一年 七千二百円
で毎月「宝塚グラフ」を郵
送。
普通会員／一年 二千三百
円で毎月「宝塚だより」を
郵送

その他、友の会行事への
参加、座席予約などの特典
もあります。

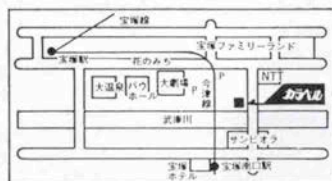
花の道にある友の会には
宝塚の情報がいっぱい。気
軽にお寄り下さい。

ご入会のお問い合わせは
宝塚友の会 〒665宝塚市栄
町1の1の57 電話0797
(85)6801まで

宝塚歌劇 座席券セットのホテル

宝塚レディスイーン

●ご宿泊(朝食付) お一様¥5,700
<税別> 全室バス・TV付



レストラン
カレベル
欧風料理

宝塚レディスイーン1F

阪急宝塚南口駅、徒歩3分・阪急宝塚駅、徒歩5分
〒665 宝塚市武庫川町47-1 ☎0797(81)0001

★「ビスクアート」がやってきた
アメリカで生まれた、好みの素
焼き(ビスク)に絵つけをするとい
う新感覚の会員制ホビーサロン
「ビスクパレット」が10月29日に
オープンした。

従来の素焼きと異なり、強度の
ある陶磁器及び発色の良い200色も
の絵の具を使用するため、よりア
ーティストティックに楽しめ、ビス
クも約100種類あるので、自分で作
った食器でテーブルセッティング
することもできる。



お洒落で素敵な作品たち

入会金千円、ビスク350円〜5千
円、焼代500円、サロン使用料2時
間500円、絵の具36色他は無料。
'94年1月からは、ビスクアートの
テクニクがレベルに合わせて
身につけられる講座もスタート。
この秋、新しいホビーを始めて
みよう。

■飾りモノカンパニー ビスクアート事業部
神戸市中央区江戸町100 高砂ビル301
室(078)333-9847
営業11時〜19時(木のみ21時まで) 日・祝休

★こだわりの鞆を手作りで

新宿のバーニーズニューヨーク
で、AUM松本のブランドで人気
を博していたハンドメイドの鞆店



こだわりの鞆がずらり...

AUMが、関西第1号店として六
甲アイランドにオープン以来、着
実にファンを増やしている。

10数色ある皮を選び、好みのデ
ザイン、サイズを告げれば、約2カ
月で自分だけの鞆がで上がる。

「ブランドものを卒業し、本当に
使い易く、良いものを持ちたいと
おっしゃる中高年の方が多いです
ね」とオーナーの松本さん。

中の細工や仕組にこだわったブ
リーフケースを求めるビジネスマ
ンも多いとか。

自分だけの究極の鞆を作ってみ
てはいかが？

■AUM
神戸市東灘区向洋町1-18
六甲アイランド・リバーモールF
室(078)858-2896
営業10時30分〜20時 木曜定休

★デイズニーの主人公たちが

神戸の街にやってきた!!

10月21日(木)〜24日(日)まで、
神戸ファッションマートにおいて
「デイズニー・ファッション&リ
ビング・フェスティバル神戸」が開
催された。

ウォルト・デイズニー・エンタ
プライズ社の代表取締役ギニー・R・

アールフット氏は「このイベント
をきっかけに関西にデイズニーマ
ジックを浸透させたい」と挨拶。
ファッション関連とリビング関
連のデイズニー・キャラクター・
グッズの展示、生活の中の12シー



可愛いファッションショー

ンを設定した様々なアイテムによ
るファッションショーやキャラク
ターコスチュームショーが開か
れ、業界関係者だけでなく、一般
の人々も楽しんだ。

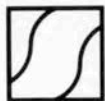
★セリザワ創業90周年記念テレカ
プレゼント!!

エレガンスを語り、神戸のファ
ッションをリードしてきたブテイ
ック・セリザワ(芹澤豊男社長)
が、今年90周年を迎え、それを記
念して素敵なテレフォンカードを
作った。



お洒落なテレカ・セット

■このテレカを10名様にプレゼント。
「テレカ希望」と書いてファッションス
ポット係まで。締切は11/30。



serizawa
KOBE

本 店
神戸市中央区三宮町3-1-8
TEL.078-331-1695

●レディス●

本 店
さんプラザ店
センター街店
さんちか店
P-4ショップ

●メンズ●

メンズセリザワ

KOBE・OSAKA・TOKYO
KYOTO・HIMEJI・GIFU

●
お洒落のための特典いろいろ
1枚のカードから。



セリザワカード

クラシックを軽やかに。

WINTER COLLECTION '93-'94



藤本
統紀子の
おしゃれ散策



ホテルオークラ神戸 スカイバンケットルームで、パトリック・ルイ・ヴィトンさんを囲んでルイ・ヴィトン神戸直営店店長の大豊昌子さん(右)と藤本統紀子さん。左前はマハラジャのティーケース、右後ろは銀髪指揮者ストコフスキーが豪華船ノルマンディ号の旅で使ったデスクトランク。パリ、アニメールのルイ・ヴィトン・ミュージアムに展示されているものをそのまま展示。同会場ではパトリック・ルイ・ヴィトン氏本人によるスペシャルオーダーの受注も行われた。

パトリック・ルイ・ヴィトン氏来日

〈ルイ・ヴィトン スペシャルオーダー総責任者〉
ルイ・ヴィトン家5代目

ルイ・ヴィトン・ジャパン株式会社では創業15周年を機にスペシャルオーダー部門を創設拡大。これを記念してパリのスペシャルオーダーの総括責任者であり、ルイ・ヴィトン家5代目のパトリック・ルイ・ヴィトンが来日した。10月19日(火)にはホテルオークラ神戸でパーティが開かれた。会場にはパリ、アニメールのルイ・ヴィトン・ミュージアムに展示されているルイ・ヴィトンの歴史に残る名品や約50点にのぼる最近つくられたスペシャルオーダー製品が展示。当日は藤本統紀子さんもパーティに出席。パトリック・ルイ・ヴィトン氏と西尾忠久氏のトークショーではルイ・ヴィトンの魅力が披露された。

パトリック・ルイ・ヴィトン(以下パトリック)ルイ・ヴィトンは1854年パリに旅行靴専門店としてオープンしましたが、私は1973年に入社しました。ルイ・ヴィトンでは専門職の各工程ごとに職人がいます。親子3代にわたりビスを打っていたりするわけですが、私はこれら



愛情を注いでつくられたスペシャルオーダー製品



シューズトラंक：1足ずつ靴が入る

の全ての工程を経験、修養してきました。これは初代のルイに始まり、ジョルジュ、ガストン私の父クロード、そして私5代目へと受け継がれている伝統であります。その後、工場長、本社統括の技術部門の責任者、クリエイション部門、広報部門と様々な仕事を経験しましたが、私の真髄は自分で靴をつくり、

お客様のきびしい要望にお応えすることにあります。パリ郊外、アニエール工場ではスペシャルオーダー専用のアトリエがあり、私に技術を教えた職人や、私と長い間一緒に仕事をしてきた職人が10人程おり、現在も週2回は顔を合わせています。

——アルゼールにルイ・ヴィトンの真髄があると思いますか？

パトリック アルゼールは20世紀初めにジョルジュ・ヴィトンによって開発されたトラंकですが、大変機能的で便利です。ポブラの木を中に使っているのが耐久性が良く、飛行機で荷物を預ける時も何の心配もいらない完璧な品質を持っています。

西尾 私は20年前にニースのルイ・ヴィトンでこのトラंकを買いました。その後、40回以上海外旅行にこの靴を持っていきましたが、どこもこわれていないのです。その頑丈さに惚れて50から60ぐらい、ピーナツのようにあとを引いてヴィトンの製品を買いつけていますよ。鍵をロンドンで落としたこともあったのですが、本店に行くとスペアキーであけてくれて……すごいなと思いましたね。

パトリック ヴィトンの魅力は製造に多大な愛情を注いでいる点に尽きると 생각합니다。とても品質を尊んでいます。例えばトラंकに使用されているポブラの木はわくを組み立てる前に7

年間アトリエで乾燥させています。皮の染色もチェックを一つ一つ怠っていません。いいものは何世代にも渡り使われ、その間に何回も世界を回ります。古いトラंकをあけるとその時々旅行の思い出、海の匂い、街の匂いなどが湧き上がってくるのです。そういうすばらしい魅力があるのです。

今回は創業当時より当社の真髄であるスペシャルオーダーの部門を日本においてより充実させました。どのようなお客様の要望にも広くお答えしていきたいと思っています。

トークショーの後に藤本統紀

子さんに感想を伺ってみました。
藤本 パトリックさんがバッグを全部ご自分でお作りになると同って驚きました。伝統が受け継がれているのですね。西尾さんのお持ちになったトラंकの中のナンバーをパトリックさんがご覧になっておおよその製造年がおわかりになると同って、それだけ情熱を込めて製品を作っておられるのだと思いました。スペシャルオーダーはすばらしいですね。一度、展示されていたデスクトラंकを持って旅を試みたいですね。

■ルイ・ヴィトン神戸直営店

神戸市中央区元町通3-4-9
☎078-3391-3261

” 出版 ここに



藤本ハルミさん

——着物のドレスを創ることに
なったきっかけは何でしょうか。
藤本 昭和42年に初めてヨーロッ
パへ行って、カルチャーショック
を受けたんです。気候も、体型も

日本伝統の着物地を使ったオリ
ジナルの洋服を創り続けて25年の
デザイナー藤本ハルミ先生。今ま
での活動の集大成として、流れる
季節に・・・藤本ハルミ作品集、が
出版され、12月14日には出版記念
と合わせて、作品のファッショ
ンショーが開かれる。そこで、藤本
先生にインタビュー。

■ Fashion Interview



流れる季節に、の鶴飛翔

違うのに、パリのオートクチュ
ールを追いかける愚かさを痛感しま
した。

日本を代表してミラノのスカ
ラ座へ行く時何を着るかです。日本
の伝統の着物地や帯地、これなら
パリのオートクチュールにも優と
も劣らないです。それを華道の小
原豊雲先生にお話ししたら、「やっ
てみる」と言ってお下さって、翌年
の、明治百年を記念して、日本の
古典を探索、のショーとなりました。

——'77年のファッションショーで
テーマ・日本の四季、流れる季節
に・・・が出てきましたが。

藤本 あのショーの前にムーラ
イトのレストランで、美術担当の
石阪春生先生、音楽の新井満さん、
照明の林恵介さん、演出の岡田美
代さん、小泉美喜子さんが5時間
位かけて、藤本ハルミ解体論、を
してくれました。その時自分が日
本の四季をどんなに愛しているか
が解りました。そのテーマが決ま
ってから、私は迷うことなくシ
ョーの仕事が本当に楽しくなりま



株式会社 木下真珠

神戸市中央区山本通1丁目7-7
本 社 TEL. (078) 221-0487・7870
オーダーサロン TEL. (078) 221-3170

人に、美しいもの。
◎大月真珠

神戸中央区港島中町6丁目4-1
TEL. (078) 303-2111

HARUMI FUJIMOTO

藤本ハルミ出版記念パーティ

1993年12月14日(火) p.m. 6:30 ~
新神戸オリエンタルホテル・真珠の間



“流れる季節に”より菊姫

●作品集 “流れる季節に・・・

藤本ハルミの世界がこ

したね。

—KFM（神戸ファッションモ
デリスト）を創ってグループでも
ショーを催されていますが・・・。

藤本 個人では10年ごとにショー
をしてきましたが、デザイナーと
名のるからには、自分の衣裳哲学
を表現するショーを発表するべき
だと思っています。売ることだけでは
なく、自己表現ですね。そこで同
じ考えを持つ人達が集まってすれ
ば費用も分担できますから、80年
に結成して、13年経ちます。

—神戸ネオ・トロピカル協会も
創設され幹事をされていますね。

藤本 日本ネオ・トロピカル協会
の会長の森美代子さんとは、真円
真珠70周年の真珠コンテストのシ
ョーにドレスをお貸ししたのがこ
縁です。ロングドレスにタキシ
ードという格調高い雰囲気之初め驚
きましたが、神戸こそフォーマル
パーティが似合う街だと、ポー

ピア'81の年に創立しました。

日本人は、何でも世界中のもの
を受け入れる民族です。着る物も
食べ物も。洋服を取り入れたのだ
から、フォーマルをもっと身につ
けてゆかなければいけませんね。

—ライフワーク25年を迎え、本
の出版と出版記念会について・・・。

藤本 本については、神戸っ子の
小泉美喜子編集長に、季節の女、
でエッセイと作品を連載してみな
いかと勧められ、約2年続けまし
た。それを一冊の本にまとめるな
ど、思いもつかない事でした。思
い返すと、エッセイに子供時代の
事を綴るうちに、私はこの仕事を
するように育って来たのだと思わ
れてなりません。

12月14日の出版記念会では、作
品のミニファッションショーもし
ます。またミニトークでは、柴田
美保子さんの司会で、田辺聖子先
生、新井満さん、森美代子会長が
ゲスト出演して下さいます。田辺
先生はお忙しい中をカモカのおっ
ちゃんと一緒に出席して下さいま
す。本当に立派な人達に助けられ
て私は幸せだと思います。

また、今度のショーにも真珠各
社のご協力で華を添えていただき
ます。日本の布地に日本の真珠が
映え、品格を増してくれそうです。
パールシテイKOBEBEで、真珠と
共に日本美を追求できた事は本当
に幸せです。



山勝真珠

本 社・神戸市中央区山本通2丁目5-3
TEL. (078) 231-8141
さんちか店・さんちかローザベニュー
TEL. (078) 391-4325
大阪 京都 岡山 東京 横浜



森真珠 株式会社

神戸市中央区二宮町1丁目4-15
TEL. (078) 222-5881代



田崎真珠

神戸市中央区港島中町6丁目3-2
TEL. (078) 302-3321



タカハシパール株式会社

神戸市中央区山本通1丁目16番20号
TEL. (078) 221-0075代
FAX. (078) 221-0141

開館5周年を迎えた神戸ホワイトハウスで
伊藤誠さん 神戸文化賞受賞の集い

“伊藤誠さんを祝う会”



上は喜びを語る伊藤さん。
左は乾杯の音頭をとる森本泰好さん、
伊藤夫妻を囲んで。

“新谷琇紀の世界”



左は〈さんちか〉アルバの像の前で新谷さん
上は新谷琇紀の作品会場風景

新谷 琇紀の世界

神戸・北野 White House 彫刻家 開館50周年記念

1993年12月27日(月)まで
開催中

●10月27日水・11月24日水は休館

AM10:00～PM6:00
(12月はAM10:00～PM5:00)

■会場 神戸・北野White House

■観覧料 一般300円(前売250円)・高校生以下100円(前売80円)

■前売券発売所 さんちかプレイガイド

協賛＝(財)兵庫銀行文化振興財団/(株)オリエントコーポレーション

主催＝神戸・北野White House/sanica/(財)神戸市民文化振興財団/神戸新聞社

観光客で賑わう北野町の、三本松の不動尊を西へ。旧アメリカ領事館の官舎(神戸市指定伝統的建造物)を神戸地下街KKがレベルの高いギャラリィとティールームの異人館「神戸・北野ホワイトハウス」としてオープン、この秋5周年を迎え、12月27日まで「新谷琇紀の世界」展が開催中である。

10月29日の夜。姫路市立美術館副館長の伊藤誠さんが、神戸市文化賞を受賞され、そのお祝いの集いが「神戸・北野ホワイトハウス」で開かれた。荒川神戸新聞社長は「神戸新聞の仲間で、古いつきあいだが、大阪府立大工学部機械科出身なのに「ロダン」の彫刻に泡立つ感銘を受けて、美術を愛する人になったそうです。昭和31年に神戸新聞美術記者、44年に事業部長となり、スペイン版画展、セガランチニ展、マチスとその周辺展など世界の美術展を神戸で開いたバイオニア。58年に、姫路美術館副館長として様々な企画展を催し、そのお人柄と交遊関係は幅広い。どうぞ初心を忘れず地域文化、日本文化、世界文化への貢献を」とメッセージ。

中西勝画伯は「家そろって芸術好き」と、新谷琇紀さんは「小学校の6年生の時、砂の芸術展が須磨の浜であり、ぼくが入賞して以来のおつきあい」と。伊藤さんは「学芸員は、美術館や美術展の黒子。それに賞を頂くのは意外であつたけれど仲間や同僚への励ましになると思う。好きな仕事に携われるのはありがたい」とあいさつした。西村功、川西祐三郎、南和好、上尾忠生、伊勢田史郎、田中徳喜、石阪春生さんからアーチスト、友人達が祝福。

森本泰好(株)サンサービス社長は「伊藤さんのヨーロッパでの美術展企画の人脈ネットワークをぜひ後輩が受け継いでほしい。」また、神戸・北野ホワイトハウス5周年には「神戸の企業は、神戸のおかげで利益をあげられているのだから、地元還元を」と、メセナの必要性を説かれる。

石阪画伯は「異人さんの生活空間に絵をかけると天井が高くてとてもいい。異人館からの文化発信には、神戸のプライドがある」と。



神戸・北野

White House

旧アメリカ領事館前舎 神戸市指定伝統的建造物